

「平成 26 年度・緑のカーテンプロジェクト活動報告」

プロジェクト代表・野澤日出夫
(日本ビオトープ協会副会長)

JAXA より提供を受けた「宇宙を旅したアサガオ種子」2代目を被災直後の仮設住宅の住環境に少しでも役立てたいとの思いから、環境支援の一環として開始した「緑のカーテンプロジェクト」活動は、4年目の活動となった。

従来の仮設住宅から、本年度初めて「復興公営住宅団地」に提供した。また公共施設 3か所にも設置して広く住民に啓蒙することとし新たな展開を図った。

◇仮設住宅団地（釜石市・大槌町・陸前高田市・野田村）10 団地

◇復興公営住宅団地（大槌）1 団地 対象住宅数 646 戸

◇公共施設（釜石市立鶴住居小学校・同鶴住居幼稚園・同民俗資料館）3 施設

本年度も皆様のご協力を頂き心からの謝意を表します。

〈協力団体等：NPO 法人緑のカーテン応援団・岩手県立大学総合政策部

・あさがおネットワーク釜石・遠野まごころネット大槌・小岩井農場

NPO 法人環境パートナーシップいわて・NPO 法人日本ビオトープ協会〉

下記写真提供：釜石市立鶴住居幼稚園

